

2026 年度
東京大学大学院工学系研究科
都市工学専攻入試案内

Entrance Examination Guide for 2026 Matriculation,
Department of Urban Engineering
Graduate School of Engineering, the University of Tokyo

日本国籍を持たない者は、このほかに英語特別プログラムでの入学が可能な場合がある。英語特別プログラムの受験資格があるものは英語特別プログラムの受験を推奨する。受験資格、および詳細については、以下の Web ページを参照すること。

<https://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/english/admission/>

<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/en/soe/admission/special#tomol>

Applicants who do not hold Japanese nationality may also be admitted through the Special English Graduate Program. Eligible candidates are recommended to apply to the Special English Graduate Program instead. Please refer to the following Web page for details and eligibility requirements:

<https://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/english/admission/>

<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/en/soe/admission/special#tomol>

- 都市工学専攻修士課程入学志望者案内 1
- 都市工学専攻博士後期課程入学志望者案内 4
- 入学試験日程, 必要な環境, 携行品 8
- 【参考】都市工学専攻受験申告票 9
- 東京大学大学院工学系研究科入学試験受験者心得 11

本案内書の内容に変更や補足が生じた際は、都市工学専攻 Web サイトまたは受験者宛て電子メールを通じて通知します。出願および試験当日までの期間、これらを定期的に確認するようにしてください。

連絡先

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻事務室

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

電話: 03-5841-6216

Web サイト: <https://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/>

2026 年度東京大学大学院工学系研究科
都市工学専攻修士課程(都市環境工学・都市計画専攻分野)
入学志望者案内

- この案内は、2026 年度東京大学大学院工学系研究科修士課程学生募集要項を補うものである。
- 都市工学専攻修士課程には、このほかに都市持続再生学コース(社会人向け東大まちづくり大学院)があり、その入学志望者案内は別途配布している。

都市工学専攻 アドミッションポリシー

教育研究上の目的:

本専攻は、都市工学に関する体系的な知識とその応用技術を身に付け、都市計画、都市デザイン、都市交通計画、都市解析、環境デザイン、都市環境工学、都市水システム、国際都市環境、都市マネジメントなどに関する専門家として活躍できる人材を育成する。また、地域の気候風土・社会文化の多様性を踏まえ、グローバルな視点から国土及び地域社会の健全で持続可能な発展に貢献することを目的とする。

求める学生像:

- 1)本専攻の教育研究上の目的に沿う人材育成に応える人
- 2)多様な文化を理解尊重し人類社会に対して国際的に貢献することを目指す人

1. 定員及び出願資格

大学院修士課程(都市環境工学・都市計画専攻分野)の募集人員は 25 名である。東京大学大学院工学系研究科修士課程学生募集要項(以下「募集要項」という)第 1 項の出願資格を有する者であれば、その専門及び資格取得年次等によらず入学を志望することができる。

2. 専攻分野及び指導教員

都市環境工学と都市計画の 2 つの専攻分野があるので、受験申告票(書式は都市工学専攻 Web サイトからダウンロードすること)の専攻分野欄のうち志望する専攻分野にチェックを入れ、出願時に pdf ファイルのアップロードにより提出すること。なお、専攻分野に応じて、試験科目の選択範囲が限定されるので注意すること。

本専攻の指導教員及び本専攻における教育・研究に協力する教員とその研究領域(2025 年 4 月現在)は本案内別表 1・別表 2 のとおりである。

3. 入学時期

本専攻では、2026 年 4 月入学のほか、2025 年 10 月入学を認めている。合格の際、早期入学を希望する者は、受験申告票の「2025 年 10 月入学」にチェックを入れること。また、入学願書の所定の箇所にも同様に記入すること。

4. 選抜方法

選抜は入学試験によって行う。

5. 入学試験科目

下記の外国語及び筆記試験(専門科目)および口述試験を行う。試験日程と受験者が用意すべき環境、携行品は本案内 8 頁のとおりである。

(イ) 外国語及び筆記試験(専門科目)

試験科目 (配点)	摘 要		
(A) 外国語 (100 点)	<p>事前提出された TOEFL iBT 又は TOEFL iBT Home Edition の Test Date Scores に基づく(My Best Scores は使用しない)。スコアは受験日(Test Date)が 2023 年 9 月以降 2025 年 7 月 14 日までのものを有効とし、スコアの提出期限は 2025 年 8 月 1 日までとする。提出方法等は工学系研究科の通知に従うこと。</p> <p>点数は、TOEFL iBT 又は TOEFL iBT Home Edition のスコア S から以下の式で算出する。</p> $\text{点数} = \min(\max((S-45) \times 2, 0), 100)$		
(B) 都市工学専門 (500 点)	<p>次の分野から出題される 15 科目のうち 5 科目を選び、解答すること。ただし、専攻分野として都市環境工学を志望する者は①～⑦のうちから 3 科目以上を、都市計画を志望する者は⑧～⑮のうちから 3 科目以上を選択しなければならない。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><都市環境工学></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 上水道学・下水道学 ② 水理学 ③ 水環境学 ④ 環境微生物工学 ⑤ 環境化学・反応論 ⑥ 地球環境工学 ⑦ 廃棄物管理・資源循環 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><都市計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ⑧ 都市計画 ⑨ 都市デザイン ⑩ 都市住宅学 ⑪ 都市防災 ⑫ 都市解析 ⑬ 都市交通計画 ⑭ 地域計画 ⑮ 緑地計画・環境デザイン </td> </tr> </table>	<p><都市環境工学></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 上水道学・下水道学 ② 水理学 ③ 水環境学 ④ 環境微生物工学 ⑤ 環境化学・反応論 ⑥ 地球環境工学 ⑦ 廃棄物管理・資源循環 	<p><都市計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ⑧ 都市計画 ⑨ 都市デザイン ⑩ 都市住宅学 ⑪ 都市防災 ⑫ 都市解析 ⑬ 都市交通計画 ⑭ 地域計画 ⑮ 緑地計画・環境デザイン
<p><都市環境工学></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 上水道学・下水道学 ② 水理学 ③ 水環境学 ④ 環境微生物工学 ⑤ 環境化学・反応論 ⑥ 地球環境工学 ⑦ 廃棄物管理・資源循環 	<p><都市計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ⑧ 都市計画 ⑨ 都市デザイン ⑩ 都市住宅学 ⑪ 都市防災 ⑫ 都市解析 ⑬ 都市交通計画 ⑭ 地域計画 ⑮ 緑地計画・環境デザイン 		
(C) 計画・設計・論文 (200 点)	<p>専攻分野として都市環境工学を志望する者は C-1 を、都市計画を志望する者は C-2, C-3 のうち1科目を選択すること。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><都市環境工学></p> <p>C-1 計画・設計・論文</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><都市計画></p> <p>C-2 計画・設計</p> <p>C-3 論文</p> </td> </tr> </table>	<p><都市環境工学></p> <p>C-1 計画・設計・論文</p>	<p><都市計画></p> <p>C-2 計画・設計</p> <p>C-3 論文</p>
<p><都市環境工学></p> <p>C-1 計画・設計・論文</p>	<p><都市計画></p> <p>C-2 計画・設計</p> <p>C-3 論文</p>		

注) (B), (C)について英語による受験を希望する者は、必ず入学出願締め切りまでに履歴書(書式自由)を添えて以下の E-mail メールアドレス宛に申請すること。以下の E-mail アドレスからのメールの返信をもって申請受領とする。日本語での解答が困難であると判断された場合に限り認められることがある。

For (B) and (C), applicants who wish to take the examination in English must submit their application along with a resume (free format) to the following e-mail address by the application deadline. Applicants will be contacted from the address below when the application is received. Taking the examination in English will only be accepted if it is judged that it would be difficult for the applicant to answer the questions in Japanese.

Email: exam2026@ue.t.u-tokyo.ac.jp

(ロ) 口述試験

志望する専攻分野について、Zoom 等を用いたオンラインでの双方向ビデオ通信方式で行う。

6. 過去の入学試験問題の公開

過去の入学試験問題は、以下の本専攻 Web サイトで公開している。

<https://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/applicants/graduate/exam/>

7. 大学院説明会

大学院説明会の日時・形式・参加申込方法等については以下の本専攻 Web サイトを参照すること。

<https://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/applicants/graduate/orientation/>

2026 年度東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻博士後期課程 入学志望者案内

・この案内は、2026 年度東京大学大学院工学系研究科博士後期課程学生募集要項を補うものである。

都市工学専攻 アドミッションポリシー

教育研究上の目的:

本専攻は、都市工学に関する体系的な知識とその応用技術を身に付け、都市計画、都市デザイン、都市交通計画、都市解析、環境デザイン、都市環境工学、都市水システム、国際都市環境、都市マネジメントなどに関する専門家として活躍できる人材を育成する。また、地域の気候風土・社会文化の多様性を踏まえ、グローバルな視点から国土及び地域社会の健全で持続可能な発展に貢献することを目的とする。

求める学生像:

- 1)本専攻の教育研究上の目的に沿う人材育成に応える人
- 2)多様な文化を理解尊重し人類社会に対して国際的に貢献することを目指す人

1. 定員及び出願資格

大学院博士後期課程の募集人員は 11 名である。東京大学大学院工学系研究科博士後期課程学生募集要項(以下「募集要項」という)第 1 項の出願資格を有する者であれば、その専門及び資格取得年次等によらず入学を志望することができる。

2. 専攻分野及び指導教員

都市環境工学と都市計画の 2 つの専攻分野があるので、受験申告票(書式は都市工学専攻 Web サイトからダウンロードすること)の専攻分野欄のうち志望する専攻分野にチェックを入れ、出願時に pdf ファイルのアップロードにより提出すること。

博士後期課程入学者は、指導教員の指導を受けて研究を行うので、本案内別表 1 等を参照して、受験申告票の所定欄に希望する指導教員名(複数でもよい)を記入すること。出願前に希望指導教員と研究内容について相談することを推奨する。

3. 入学時期

本専攻では、2026 年 4 月入学のほか、2025 年 10 月入学を認めている。合格の際、早期入学を希望する者は、受験申告票の「2025 年 10 月入学」にチェックを入れること。また、入学願書の所定の箇所にも同様に記入すること。

ただし、2025 年 10 月入学の受け入れ数には限度があり、希望しても 2026 年 4 月入学に回されることがある。

4. 選抜方法

第 1 次試験(第 5 項参照)と第 2 次試験(第 6 項参照)による。なお、2025 年 9 月 30 日までに入学資格を満たしている(見込みを含む)志望者に対しては、入学を希望する時期にかかわらず、これらを併せて実施する。

注)本専攻では、出願日程 B による選抜は実施しない。

5. 第 1 次試験

第 1 次試験は、下記の外国語及び筆記試験(専門科目)(下記(イ)の通り省略される場合がある)、研究業績・研究計画、口述試験により行う。試験日程と受験者が用意すべき環境、携行品は本案内 8 頁のとおりである。なお、従前「研究業績を有する」社会人志望者に対して行っていた社会人特別選抜試験は実施しない。

(イ) 外国語及び筆記試験(専門科目)

試験科目	摘 要																		
(A) 外国語 (本学の大学院修士課程・専門職学位課程の修了者、または修了見込みの者は省略)	事前提出された TOEFL iBT 又は TOEFL iBT Home Edition の Test Date Scores に基づく(My Best Scores は使用しない)。スコアは受験日(Test Date)が 2023 年 9 月以降 2025 年 7 月 14 日までのものを有効とし、スコアの提出期限は 2025 年 8 月 1 日までとする。提出方法等は工学系研究科の通知に従うこと。																		
(B) 都市工学専門 (本学大学院都市工学専攻修士課程修了者、または修了見込みの者は省略)	次の分野から出題される 15 科目のうち 2 科目を選び、解答すること。ただし、専攻分野として都市環境工学を志望する者は①～⑦のうちから 2 科目を、都市計画を志望する者は⑧～⑮のうちから 2 科目を選択しなければならない。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;"><都市環境工学></th> <th style="text-align: center;"><都市計画></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 上水道学・下水道学</td> <td>⑧ 都市計画</td> </tr> <tr> <td>② 水理学</td> <td>⑨ 都市デザイン</td> </tr> <tr> <td>③ 水環境学</td> <td>⑩ 都市住宅学</td> </tr> <tr> <td>④ 環境微生物工学</td> <td>⑪ 都市防災</td> </tr> <tr> <td>⑤ 環境化学・反応論</td> <td>⑫ 都市解析</td> </tr> <tr> <td>⑥ 地球環境工学</td> <td>⑬ 都市交通計画</td> </tr> <tr> <td>⑦ 廃棄物管理・資源循環</td> <td>⑭ 地域計画</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑮ 緑地計画・環境デザイン</td> </tr> </tbody> </table>	<都市環境工学>	<都市計画>	① 上水道学・下水道学	⑧ 都市計画	② 水理学	⑨ 都市デザイン	③ 水環境学	⑩ 都市住宅学	④ 環境微生物工学	⑪ 都市防災	⑤ 環境化学・反応論	⑫ 都市解析	⑥ 地球環境工学	⑬ 都市交通計画	⑦ 廃棄物管理・資源循環	⑭ 地域計画		⑮ 緑地計画・環境デザイン
<都市環境工学>	<都市計画>																		
① 上水道学・下水道学	⑧ 都市計画																		
② 水理学	⑨ 都市デザイン																		
③ 水環境学	⑩ 都市住宅学																		
④ 環境微生物工学	⑪ 都市防災																		
⑤ 環境化学・反応論	⑫ 都市解析																		
⑥ 地球環境工学	⑬ 都市交通計画																		
⑦ 廃棄物管理・資源循環	⑭ 地域計画																		
	⑮ 緑地計画・環境デザイン																		

注) (B)について英語による受験を希望する者は、必ず入学出願締め切りまでに履歴書(書式自由)を添えて以下の E-mail メールアドレス宛に申請すること。以下の E-mail アドレスからのメールの返信をもって申請受領とする。日本語での解答が困難であると判断された場合に限り認められることがある。

For (B), applicants who wish to take the examination in English must submit their application along with a resume (free format) to the following e-mail address by the application deadline. Applicants will be contacted from the address below when the application is received. Taking the examination in English will only be accepted if it is judged that it would be difficult for the applicant to answer the questions in Japanese.

Email: exam2026@ue.t.u-tokyo.ac.jp

(ロ) 研究業績・研究計画

修士論文の内容及び博士後期課程での研究計画について記述した研究業績書・研究計画書を、出願時に受験申告票と同じ文書にまとめて提出し、それに基づいて評価する。詳細は受験申告票の下部を参照のこと。

(ハ) 口述試験

志望専攻分野について、博士後期課程における研究計画等に関する口述試験を Zoom 等を用いたオンラインでの双方向ビデオ通信方式で行う。

6. 第2次試験

第2次試験は、修士論文またはこれに代わるものに基づき、口述試験により行う。

(イ) 2025年9月30日までに入学資格を満たしている(見込みを含む)志望者

第1次試験(ハ)の口述試験と併せて行う。該当者は、修士論文を2025年8月14日(木)16時(必着)までに提出すること。提出方法は受験者に後日通知する。なお、修士課程において修士論文を課していない大学院を修了した者は、修士論文に代わるものを提出すること。

(ロ) 上記以外の志望者

第2次試験の期日は2026年1月下旬～2月上旬であり、詳細は本学工学系研究科事務部より第1次試験合格者に通知する。

7. 過去の入学試験問題の公開

過去の入学試験問題は、以下の本専攻 Web サイトで公開している。

<https://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/applicants/graduate/exam/>

8. 大学院説明会

大学院説明会の日時・形式・参加申込方法等については以下の本専攻 Web サイトを参照すること。

<https://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/applicants/graduate/orientation/>

別表 1: 都市工学専攻の指導教員とその研究領域(2025年4月現在)

専攻分野	担当教員	研究領域
都市環境工学	小熊 久美子 教授 片山 浩之 教授 栗栖 太 教授 ^[1] 中島 典之 教授 ^[2] 富士 謙介 教授 ^[3] 藤田 壮 教授 北島 正章 特任教授 ^[1] 風間 しのぶ 准教授 ^[4] 春日 郁朗 准教授 ^[5] 栗栖 聖 准教授 飛野 智宏 准教授 中谷 隼 准教授 橋本 崇史 准教授 ^[1] 加藤 裕之 特任准教授 五味 良太 特任准教授 ^[1] 鳥居 将太郎 講師 日置 恭史郎 講師	浄水処理, 消毒技術, 水供給システム 水質衛生学, 上下水道, 環境微生物動態 微量汚染物質, 環境微生物工学, 生物学的浄水・廃水処理 生態毒性評価, 環境水質化学, 底質汚染管理 有害物質管理, リスク管理, 広域水環境管理 環境システム, 環境評価, 都市産業共生 環境ウイルス学, 下水疫学, 微生物リスク管理 環境ウイルス学, 水環境工学, 環境衛生工学 生物学的浄水・廃水処理, 環境微生物工学, 水道水質管理 環境低負荷型地域管理, 環境心理学, 住民選好把握 生物学的下水・廃水処理, 環境微生物工学, 下水道 ライフサイクル評価, 物質フロー分析, リサイクルシステム 浄水技術, 水供給システム 下水道システム, 水環境政策・ビジネス, 下水道資源利用 環境衛生工学, 環境微生物学, 微生物ゲノム 消毒技術, 健康関連微生物, 水供給システム 生態毒性評価, 化学物質リスク管理, 都市雨水管理
都市計画	加藤 孝明 教授 ^[6] 小泉 秀樹 教授 中島 直人 教授 廣井 悠 教授 ^[5] 真鍋 陸太郎 教授 ^[7] 村山 顕人 教授 蕭 耕偉郎 准教授 瀬田 史彦 准教授 高取 千佳 准教授 高見 淳史 准教授 樋野 公宏 准教授 パラディ ジアンカルロス 講師 吉江 俊 講師 飯田 晶子 特任講師 中島 弘貴 特任講師 西 颯人 特任講師 ^[8] 長谷川 大輔 特任講師 ^[8] 山崎 嵩拓 特任講師 ^[9]	地域安全システム学, 防災・復興まちづくり論, 計画支援技術 都市計画, まちづくり論, 住環境計画論 都市デザイン, 都市論, 都市計画史 都市防災, リスク工学 まちづくりと情報, 都市計画 都市計画, まちづくり, 計画策定技法 アジア都市空間論, ジェントリフィケーション論, 参加型まちづくり 国土・都市計画, 地域開発, グローバル都市論 緑地計画, ランドスケープデザイン 都市交通計画, 交通と土地利用の連携 居住セキュリティ, 都市居住・住環境 都市交通計画, 活動・交通行動モデル 都市デザイン, 都市再生, 都市計画思想 緑地環境計画, ランドスケープデザイン 都市計画, まちづくり, リジェネラティブデザイン 空間統計解析, 住宅・不動産市場分析 空間情報解析, 地域公共交通計画, 人流解析 ランドスケープ計画

別表 2: 都市工学専攻における教育・研究に協力する教員とその研究領域(2025年4月現在)

専攻分野	担当教員	研究領域
都市環境工学	佐藤 弘泰 教授 ^[4] 珠坪 一晃 教授 ^[10] 小貫 元治 准教授 ^[11]	下水・廃水処理, 環境分析化学, 環境微生物工学 適地型排水処理, 嫌気性消化, 技術評価と実装 下水・廃水処理システム, 環境・サステイナビリティ教育
都市計画	貞広 幸雄 教授 ^[12] 出口 敦 教授 ^[4]	都市情報システム, 都市空間解析, 都市行動・計画立案支援 都市デザイン, コンパクトシティ, エリアマネジメント

教員所属: 無印 都市工学専攻 [1]水環境工学研究センター [2]環境安全研究センター [3]未来ビジョン研究センター [4]新領域創成科学研究科環境学研究系社会文化環境学専攻 [5]先端科学技術研究センター [6]生産技術研究所 [7]大学総合教育研究センター [8]不動産イノベーション研究センター [9]総括プロジェクト機構 [10]国立研究開発法人国立環境研究所地域環境研究センター [11]新領域創成科学研究科環境学研究系国際協力学専攻 [12]情報学環・学際情報学府

入学試験日程，必要な環境，携行品

(1) 入学試験日程は以下のとおりである。

課程	試験科目		日 時	試験場所
修士課程	専門科目	(C) 計画・設計・論文	8月25日(月) 9:30～12:00	試験室は，8月22日までに都市工学専攻 Web サイトに掲示する。
		(B) 都市工学専門	8月25日(月) 14:00～16:30	
	口述試験		8月29日(金)	Zoom 等を用いたオンラインでの双方向ビデオ通信方式で行う。接続時間及び URL は後日受験者に通知する。
博士後期課程	専門科目	(B) 都市工学専門	8月25日(月) 14:00～15:00	試験室は，8月22日までに都市工学専攻 Web サイトに掲示する。
		口述試験		8月28日(木)

(2) 口述試験のため，必ず受験者全員がオンライン受験の環境(自宅の自室等受験者以外の者が立ち入ることのない静かな明るい部屋，光回線などのネットワーク環境，カメラ・マイク付きパソコン等)を整えておくことが求められる。詳細は後日受験者に通知する。

(3) 試験室への携行品は以下の通り。

- 1) 受験票 (オンライン交付された受験票を紙に印刷したもの)
- 2) 黒色鉛筆(またはシャープペンシル)，消しゴム，鉛筆削り(卓上式は不可)，時計(計時機能だけのもの)
- 3) (C)計画・設計・論文の試験においては，以下も持参すること。
 - a) 【C-1を受験する者】 定規(目盛付き)
 - b) 【C-2・C-3を受験する者】 色鉛筆，定規(目盛付き)
 - 色鉛筆の他にフェルトペン(水性ペン，サインペン)を使用しても良い。インクを使用する製図ペンや絵具の使用は認めない。
 - 定規について，三角定規と三角スケールは使用しても良いが，テンプレートと T 定規の使用は認めない。
- 4) 携帯電話等の電子機器類は，試験室入室前にアラームの設定を解除した上で電源を切り，カバン等に入れ，身につけないこと。携帯電話等を時計として使用することは認めない。
- 5) (C)計画・設計・論文の解答に用いる電卓は貸与するので持参しないこと。

(4) 状況により，上記に記述した試験方式等を変更する可能性もあるため，後日，都市工学専攻 Web サイトで公開する補足情報に注意すること。

都市工学専攻 受験申告票
Questionnaire Sheet [Master's Course]

下記の所定欄に記入し該当する項目にチェックを入れること。チェックされていない場合は、出身学科等を考慮して本専攻で専攻分野等を指定することがある。

ふりがな	
修士課程受験者氏名 Name: Surname, first name	
専攻分野 Major field of study	<input type="checkbox"/> 都市環境工学 Urban Environmental Engineering <input type="checkbox"/> 都市計画 Urban Planning
入学希望時期 Desired enrollment term	<input type="checkbox"/> 2025年10月入学 October, 2025 <input type="checkbox"/> 2026年4月入学 April, 2026 <small>(入学願書に記入した内容と必ず一致させること。 The term stated above must be in accordance with the term stated in the application form.)</small>

修士課程における研究計画について Research plan

研究テーマ, 目的, 方法を下の空欄に簡潔に記述しなさい(複数ページにまたがることは認めない)。

Briefly describe your research topic, objectives and methodology in the space below (not allowed to span multiple pages).

都市工学専攻 受験申告票

Questionnaire Sheet [Doctoral Course]

下記の所定欄に記入し、該当する項目にチェックを入れること。チェックされていない場合は出身専攻等を考慮して本専攻で専攻分野等を指定することがある。また、下記の指示通り、次のページから研究業績・研究計画を執筆し、全7ページ以内の単一のファイルとすること。

ふりがな	
博士後期課程受験者氏名 Name: Surname, first name	
専攻分野 Major field of study	<input type="checkbox"/> 都市環境工学 Urban Environmental Engineering <input type="checkbox"/> 都市計画 Urban Planning
入学希望時期 Desired enrollment term	<input type="checkbox"/> 2025年10月入学 October, 2025 <input type="checkbox"/> 2026年4月入学 April, 2026 <small>(入学願書に記入した内容と必ず一致させること。 The term stated above must be in accordance with the term stated in the application form.)</small>
希望指導教員(複数可) Name(s) of desired supervisors	

研究業績・研究計画について Previous research achievements and research plan

次のページから、研究業績書(4ページ以内)と研究計画書(2ページ以内)を作成しなさい。

- 研究業績書(様式自由): あなたが過去に行った研究(修士研究を含む)の概要を記述しなさい。
- 研究計画書(様式自由): 博士後期課程に入った場合に行おうとしている研究について、以下の事項を記述しなさい。
 - (1) 研究目的を、どのような問題意識で何をどこまで明らかにしようとしているのかがわかるように、具体的に記述せよ。
 - (2) その研究に関連する主要な既往研究(自分以外による)をレビューし、自分の研究の位置づけを明確に記述せよ。また、その研究課題について自分自身でこれまで研究を行っていれば、その経過(成果を含む)や準備状況等についても説明せよ。
 - (3) 研究目的を達成するための研究計画・方法を記述せよ。
 - (4) その研究の独自性、重要性がどこにあるかを記述せよ。

On the next page, describe your previous research achievements (no more than 4 pages) and your research plan (no more than 2 pages).

- Previous research achievements (any format is acceptable): Describe your past research experience including your master's thesis.
- Research plan (any format is acceptable): Describe the following items regarding your proposed research during the doctoral program.
 - (1) Research objectives, clarifying what you think the major problem is, and to what extent it will be solved through your research.
 - (2) Literature review of the most important studies (by other researchers) related to your research subject. If you have already conducted research on the subject, explain its progress, including major results, as well as the state of preparation for your proposed research plan.
 - (3) Research plan and methodology to achieve your research objectives.
 - (4) Originality and importance of your research.

令和8(2026)年度 東京大学大学院工学系研究科入学試験受験上の注意

1. 試験日

令和 7(2025)年 8 月 25 日(月)～8 月 29 日(金)

(各科目等の試験時間・場所の詳細は、志望専攻の「専攻入試案内」を参照してください。)

2. 試験場

東京大学大学院工学系研究科(東京都文京区本郷 7-3-1)試験場案内図参照

- (1)各自が受験すべき科目の試験室については、令和 7(2025)年 8 月 22 日(金)午前 10 時までに工学系研究科 Web サイト及び各専攻 Web サイトに掲示するので、予め試験室を確認してください。
- (2)受験者は、試験開始時刻の 20 分前までに所定の試験室に入室してください。なお、専門科目(専門学術)試験については、専攻において別に指示することがあります。
- (3)試験室では、机の上に貼付してある受験番号が、受験票のものと同一であることを確認して、着席してください。
- (4)試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

3. 試験当日に持参するもの

- (1)受験票(試験当日に受験票を持参し忘れた場合は、試験室に行き、監督者に申し出てください。)
- (2)黒色鉛筆(又はシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り(卓上式は不可)、シャープペンシルの芯、時計(計時機能だけのもの)。*但し、ボールペンはその持ち込みを認めない。
- (3)専門科目(専門学術)試験の携行品については、専攻において別に指示することがあります。
- (4)その他、受験票交付時に指示するもの。

4. 一般教育科目(一般学術)試験時の留意事項

- (1)監督者の指示に従ってください。
- (2)試験時間中の退室は、解答を終えた場合でも、また、試験を放棄する場合でも認めません。
- (3)試験時間中、受験票を常に机の上に置いてください。
- (4)解答用紙及び問題冊子は、持ち帰らないでください。
- (5)監督者の指示があるまで退室しないでください。

5. 博士課程第 2 次試験

博士課程第 2 次試験は、原則として令和 8(2026)年 1 月中旬から 2 月上旬とし、期日・場所は追って通知します。

Notice for Examination **~The 2026 Master's / Doctoral Program** **Graduate School of Engineering, the University of Tokyo~**

1. Examination Dates

Examinations will be held from August 25 (Monday) through August 29 (Friday), 2025.
(For details on times and location of the examination subjects, refer to the “Guide to Entrance Examination” of the department you are applying for.)

2. Examination Location

Refer to the “Campus Map for the Examination” [see the attached paper].

(1) The actual place of the examination subjects for applicants will be posted on the School of Engineering website and each department website by 10:00 a.m. on August 22 (Friday), 2025.

Confirm the specified place for the examination subjects beforehand.

(2) Applicants should arrive at the specified place for the examination subjects 20 minutes prior to the scheduled examination time.

For the examination of specialized subjects (専門科目(専門学術)), also refer to notifications from the department you are applying for.

(3) Confirm that the number on your desk is the same as your examinee number and take your seat at that desk.

(4) If you are late for the examination, you will still be allowed to take the examination if it is less than 30 minutes after the start of the examination.

3. Items to Bring

(1) Examination admission card. (*If you forget to bring it on the examination day, go to the examination venue and tell the supervisor about it.)

(2) Black pencils (or black mechanical pencils), an eraser, a pencil sharpener (a desktop type is not allowed), mechanical pencil leads, a watch (watches with functions other than time measurement are not allowed).

*The bringing of ballpoint pens is not permitted.

(3) For other items to bring for the examination of specialized subjects (専門科目(専門学術)), refer to notifications from the department you are applying for.

(4) Other items as instructed at the time the Examination admission card is issued.

4. Notice during Examination of Regular Education Subjects (一般教育科目(一般学術))

(1) Follow the instructions from the proctor during the examination.

(2) You cannot leave the examination room throughout the examination.

(3) The Examination admission card must be kept on your desk at all times during the examination.

(4) Applicants cannot take home the answer sheets or the problem booklets after the examination.

(5) Do not leave the room until instructed to do so by the proctor.

5. The Secondary Examination for Applicants to the Doctoral Program

The secondary examination will be held between mid-January and early February 2026.

Applicants will be advised of Examination dates and locations regarding secondary examinations for the department they are applying for later.

